

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	電子機能物質における自己組織化の解明と応用	研究代表者名 (所属・職)	加藤 礼三（理化学研究所・加藤分子物性研究室・主任研究員）
-------	-----------------------	------------------	-------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題では、数多くの新規構造を実現し、その構造によって規定された電子系が示す物性を高い実験技術を駆使して明らかにした。その成果は、物性科学として非常に高く評価でき、所期の目標を達成したと言える。また、研究成果も積極的に発表し、世界的にも高い評価を得ている。

しかし、研究目標の一つに掲げられた「結晶構造と電子構造にまたがった自己組織化の概念を構築する」までは至っていない。